

いのちを
育む!!

おだしま久美子 通信

公明党仙台市議団 青葉区国分町3丁目7-1 TEL 022-214-8718



〈公明党市議団 同行〉請願書提出

多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

不登校の子どもたちの育成を図るための
施策推進と支援のお願い



請願と共に、天野新教育長との懇談の場を実現。

請願内容について担当局からの答弁を頂き、多様な学びを求める子ども達の現状についても伝えました。夢みる小学校仙台自主上映会実行委員会メンバーにも同席頂き、子どもの権利などについても改めて確認する場となりました。

～請願の内容～

1. 不登校の子を持つ家庭への、学校以外の居場所や親の会の存在周知と情報提供、行政との連携および経済的支援
2. 出席認定の基準についての保護者へのわかりやすい情報提供、および不登校によって被る評価と進路選択の不利益の解消
3. 不登校児童の児童館への自由来館の受け入れ

▶ 令和6年第2回定例会 一般質問

第2回定例会(6月20日)録画▶



子どもの権利／啓発、多様な意見反映



小田島 子どもの権利に対する意識改革、全庁において徹底することが必要。「子ども基本法」では子ども、若者、子育て当事者の意見反映が義務づけられている。検討状況を伺う。

市長 国の「こどもまんなか実行計画」には子ども、若者の健やかな成長のための施策、少子化、貧困対策等、幅広く網羅されており、中でも、子ども・若者の社会参画・意見反映は特に注力すべきと考える。法の理念の庁内への浸透を図り、「仙台市健やか子育てプラン」子ども・若者施策に、意見を反映する仕組みについて検討する。

こども・若者局長 こども・若者の意見反映は自己肯定感や社会の一員としての主体性向上に繋がる。「仙台市健やか子育てプラン」策定にあたり、市制はもちろん、家庭や学校、地域において子どもの意見が反映されること、また、こども・若者に向けては、自分の思いを発することの意義について、周知・啓発を図る取り組みを検討する。

おだしま久美子 公式サイト



Facebook



Twitter



LINE





子どもの権利／学ぶ権利

小田島 国の実行計画では、多様な学びの確保についても言及。自宅にいる子どもへの学習・相談支援、教育支援センターの機能強化や役割の明確化など、方針が示された。本市の令和4年度不登校児童生徒は2567人、うち、どこにも繋がっていないと思われるのは小学校237人、中学校964人。この状況をどう受け止めているか。児遊の杜の受入れを断られたという声もあるが、どんな理由で入所できないのか。

教育長 ICT等を活用した支援を実施しており、オンライン授業も今年度中に着手する予定。教育支援センターでは小集団・個別学習、相談、保護者支援、家庭訪問による支援、学校訪問支援、民間施設と連携した取り組みも進めている。

杜のひろばの一部で定員を超え、受け入れを断らざるを得ない状況があり、相談員臨時的増員等により、できるだけ多くの児童生徒のニーズに応えてまいりたい。

小田島 学びの場を確保できない子どもは、令和3年は1000人弱、令和4年は1201人。1年で200名増えた。それに対して「定員が一杯だったので断らざるを得ない」という答弁。待たなしで取り組んで頂きたい。教育支援センター児遊の杜、「学びたいという子はそこに来て良いよ」という自由な空間があっても良いのではないかと。ICTについては子ども達申し込んでいるが、現場は今一杯一杯の状況。本市の子ども達の教育機会確保について、1200人の子ども達が学びを求めているのだということ、意識した答弁をお願いしたい。

教育長 多様な学びの機会確保、何より重要。自己決定権、自己選択などの機会が、ウェルビーイングに繋がるという発想も社会の中で出て来ていて、子どもの権利条約にもなっている。

児遊の杜、先生方多数おられるが、杜のひろば、ステーションなどへの派遣、保護者のケアも行っている状況。残念ながら2ヶ所の杜のひろばにおいて希望者を断らざるを得なかった事態を重く受け止め、環境整備を進めてまいりたい。

市長 どこにも繋がっていない子ども達、1201人、とても申し訳なく思う。最善の学びの機会を担保できるよう、教育委員会と共に連携しながら努めてまいりたい。

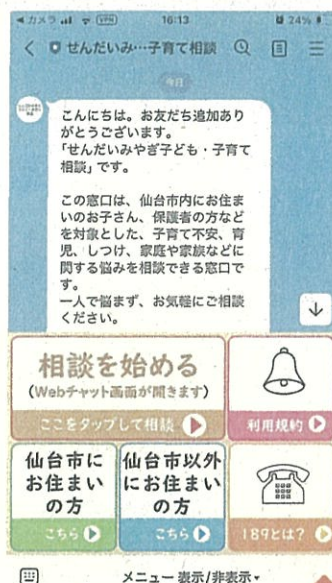
子どもを不慮の事故から守る／情報提供、深夜・休日の相談

小田島 子育てサポートブックなどでの事故防止啓発を行っているとは伺ったが、子育て情報「せんだいのびすくナビアプリ」と連携した情報提供を求める声が多い。育児教室等のワンクリック申請を求める声もある。製品事故注意喚起状況も伺う。

こども・若者局長 育児教室、乳幼児検診などで事故対策を呼び掛け。のびすく仙台には誤嚥の危険性がある製品の展示を行っている。「せんだいのびすくナビアプリ」は令和3年の運用開始時から電子母子手帳機能を搭載。プッシュ型の情報発信機能を追加するなどしてきた。母親教室等、アプリから申込みにアクセスしやすくする他、さらなる利便性向上を図っていく。

小田島 深夜・休日に相談できる窓口を求める声もある。のびすく専門相談員、LINEで行う「せんだいみやぎ子ども・子育て相談」など、いずれも日中から夜8時までの相談がほとんど。夜間や早朝、休日など育児から離れられる時間帯のニーズがある。山形市ではLINEを活用しAIとデジタルソーシャルワーカーによる24時間365日体制の相談支援を開始すると聞いた。

こども・若者局長 深夜・休日にも対応できる相談支援については、運営体制に課題も想定される。他都市の状況も注視し、情報収集に努めたい。



熱中症特別警戒アラート

LINEを活用した「せんだいみやぎ子ども・子育て相談」と、子育て応援サイト「せんだいのびすくナビ」と連携したアプリ

小田島 環境省は4月から「熱中症特別警戒アラート」の運用を開始。クーリングシェルター指定と施設開放の義務化への対応、周知啓発などについて。

市長 7月中旬をめどに、区役所などの庁舎、市民利用施設について指定を行い、順次拡大していく。指定施設のホームページ等での公開と共に、熱中症に関わる情報を分かりやすく発信し、普及啓発に努める。



軽度外傷性脳損傷(MTBI)／事故防止、理解啓発

小田島 MTBI患者の方々、様々な症状、誤診により寝たきりになる事例もあり、深刻な状況があることについて理解啓発が必要。画像では確認しにくい脳損傷の診察と経過観察、学校・幼稚園・保育所等における予防措置推進、家庭・市民への啓発について。

健康福祉局長 職場や家庭でも理解されず苦しんでいる方がいることは承知している。リーフレット作成やホームページに掲載するなど、啓発に取り組んでいく。

病院事業管理者 異常がない場合も症状が出る可能性があり、問合せ先、注意書きを渡して知らせ、経過観察をお願いしている。適切な時期のリハビリが重要、実施に取り組む。

消防局長 現場での判断を適切に行うため、医師を交えた症例検討会、救急活動事後検証等により、観察能力や症例に関わる知見向上に努めている。

こども・若者局長 けがの状態に合わせた対処法について安全管理マニュアルに記載、医師から頭部打撲への対応を学ぶ研修会等を通じ、施設職員の理解を深める取り組みを進めている。MTBIを含む頭部外傷に関する提言などを活用した関係者への研修などについては、情報収集等に努める。

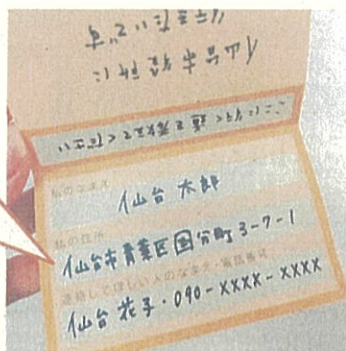
認知症ヘルプカード **実現**

周りの人にちょっと手助けしてほしいことや、わかってほしいことを書いておき、必要な時にだけ見せて使うカード。

ホームページよりダウンロードできるようになりました。



仙台市公式HP
ダウンロード



もって安心！使って便利！

希望をかなえるヘルプカード

「希望をかなえるヘルプカード」は、自分が望んでいること、やりたいことなど、安心してスムーズにできるために、自分が使うカードです。カードには周りの人にちょっと手助けしてほしいことや、わかってほしいことを書いておき、必要な時にだけ見せて使います。

使うメリットは？

- ・自分をわかってもらえる
- ・望みや不安、伝えたいことをわかってもらえる
- ・忘れても大丈夫
- ・話さなくても、伝わる
- ・パニックを防げる
- ・緊急時や災害時の備えになる

本人が望む社会参加を続け、元気に暮らし続けることができます。

**地域の方へ
まちで働く方へ**

自分のまちやお店等で、希望をかなえるヘルプカードのことを伝えあてていきましょう。みんなで気軽にカードを使いやすいまちやお店に！

市道の街路樹 根や枝によるトラブル **実現**

根が民地の排水管に侵入したり、枝が落下し、民地の雨樋に落下するような事案が発生。道路の保険適用、賠償の対象になることもありホームページ等により周知されます。

将監町内会自治会 連絡協議会 50周年記念式 **参加**

約120名が参加して行われました。

仙台89ERS 志村社長・泉区長と



南・北・西中山町内会合同 クマ対策講座 **参加**

近年の新たな課題として、学ぶ機会になりました。



オープンハートネット懇談会

重い障害を持つ子ども達の家族会に参加。



カフェ・ドゥ・チルミル **視察**

医療的ケア児のママが働くカフェを視察。

